

別添 1



足立区

足立区学童保育室整備計画

(令和5年度見直し)

令和6年3月

足立区 地域のちから推進部

住区推進課

目次

1 計画の見直しにあたって	- 1 -
2 待機児童解消に向けて	- 1 -
3 見直しの基本的な考え方	- 2 -
4 学童保育室需要数の算出方法	- 2 -
5 整備の方向性	- 4 -
6 令和6年度整備予定地区（令和7年4月1日開設）	- 5 -
7 特別延長保育の拡大について	- 7 -
8 学童保育室 地区別・年度別需要予測数と整備計画（各年度4月1日時点）	- 8 -
9 学童保育室整備計画一覧	- 10 -
10 学童保育室 33地区別需要予測等の状況	- 12 -
地区1 千住東地区	- 12 -
地区2 千住関屋地区	- 13 -
地区3 千住西地区	- 14 -
地区4 千住桜木・千住河原町地区	- 15 -
地区5 中川地区	- 16 -
地区6 東和地区	- 17 -
地区7 綾瀬地区	- 18 -
地区8 加平地区	- 19 -
地区9 大谷田地区	- 20 -
地区10 佐野・六木地区	- 21 -
地区11 西綾瀬・足立地区	- 22 -
地区12 弘道地区	- 23 -
地区13 青井地区	- 24 -
地区14 中央本町地区	- 25 -
地区15 保塚・南花畑地区	- 26 -
地区16 保木間地区	- 27 -
地区17 花畑地区	- 28 -
地区18 平野・島根地区	- 29 -
地区19 竹の塚・六月地区	- 30 -
地区20 西保木間地区	- 31 -
地区21 梅島地区	- 32 -
地区22 梅田地区	- 33 -
地区23 関原地区	- 34 -
地区24 興本・扇地区	- 35 -
地区25 西新井本町・江北地区	- 36 -
地区26 西新井地区	- 37 -
地区27 伊興南地区	- 38 -

地区 2 8 伊興北地区	- 39 -
地区 2 9 鹿浜地区	- 40 -
地区 3 0 谷在家・皿沼地区	- 41 -
地区 3 1 舎人・入谷地区	- 42 -
地区 3 2 新田地区	- 43 -
地区 3 3 江南地区	- 44 -

1 計画の見直しにあたって

2 待機児童解消に向けて

1 計画の見直しにあたって

「足立区子ども・子育て支援事業計画」（以下、「事業計画」という。）および「足立区放課後子ども総合プラン」（以下、「放課後プラン」という。）の改訂を契機として、令和元年度に、これらの待機児童解消策を実施するための個別計画として「足立区学童保育室整備計画」（以下、「整備計画」という。）を策定しました。

この整備計画は、区内を33地区に細分化し、地区ごとにより詳細な調査・分析を行ったうえで需要を予測し、学童保育室における待機児童解消に向けて、学童保育室を必要数整備するものです。

毎年申請状況によって大きく需要が変化することから、最新の申請状況等の実績を踏まえて毎年度見直しを行うこととしており、本計画は令和5年度の見直しを反映した最新版です。

2 待機児童解消に向けて

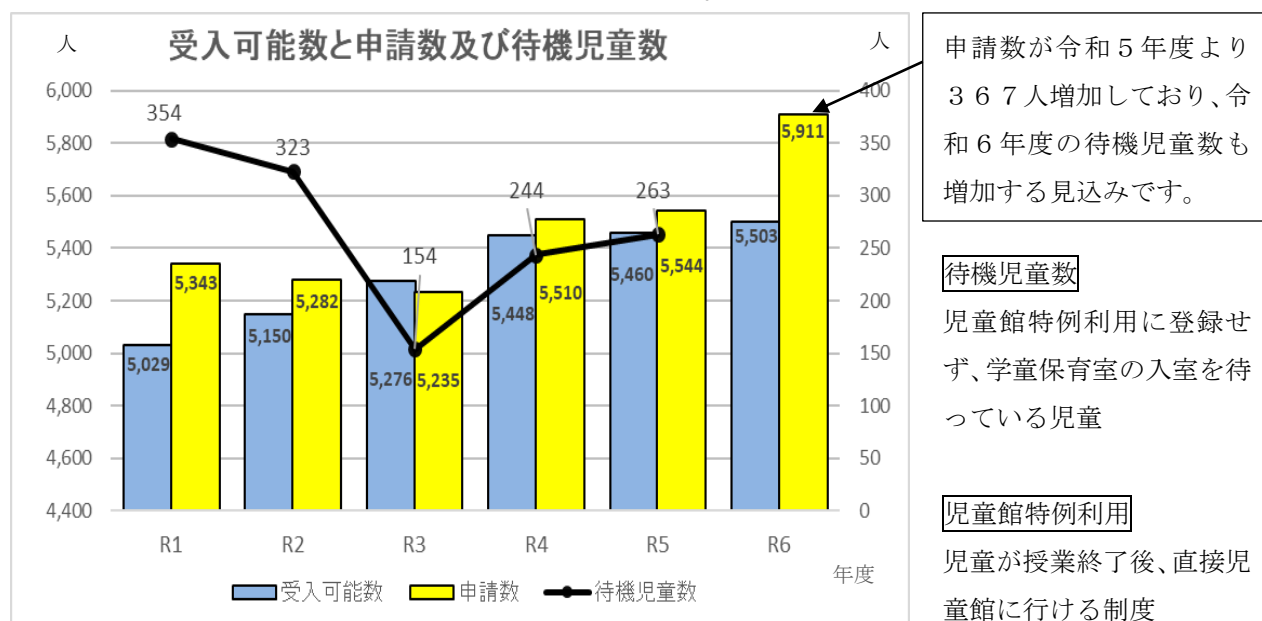
これまで、学童保育室の需要数の増加に対し、学童保育室の増室や定員増、定員の弾力化（※1）等により対応してきましたが、令和5年5月1日には待機児童数が263人となり、前年度に比べて19人増加しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策の5類移行により働き方が元に戻ったことや保育園の待機児童解消が進み、子どもを預けることを希望する方が増えたことなどを背景に、前年度に比べ申請数が大きく増加しており（対前年度比+367人）、それに比例して待機児童も前年度より増加する見込みです。

令和5年度は、令和6年4月1日の開設に向けて、区内8地域で民設学童保育室を募集しましたが、1室の学童保育室新設（関原地区40人増）に留まりました。

学童保育室の待機児童解消は区の喫緊の課題であり、**令和7年4月1日時点の待機児童解消**を目指して、学童保育室の整備に取り組んでいきます。

※1 実際の出席率を加味して、待機児童解消のために、区で定員の約1割程度、児童を多く受入することを可能にしている制度です。



3 見直しの基本的な考え方

- (1) 整備計画の待機児童解消目標時期について

従来の令和6年9月末時点から令和7年4月1日時点に変更します。

【目標時期の考え方】

学童保育室では夏休み明けを中心に退室者が多いことから、従来は毎年度の9月末時点の需要数をふまえ目標時期を設定していましたが、年度当初からの学童保育室の需要に対応していく必要があることから、目標時期を4月1日時点に変更します。

- (2) 33地区別の需要予測を踏まえ、学童保育室が不足するすべての地域を対象に施設整備の募集を行い、令和7年4月1日開設に向けて学童保育室を整備します。
- (3) 人件費及び賃借料補助の見直し
各学童保育室が必要な職員を確保し、長期的に安定した運営ができるよう、人件費及び賃借料補助の拡充を含めた補助金や委託料の増額を令和6年度予算に計上し、可決された場合には、運営事業者に対して支援していきます。
- (4) 整備計画では、令和3年度当初から令和7年度当初までに開設する学童保育室を対象としています（10、11ページ参照）。
- (5) 今回の見直しでは、最新の実績として、①令和6年4月入室の申請状況 ②学齢人口予測 ③大規模開発予定の情報を活用し、学童保育室需要数を算出します。
- (6) 本計画では需要の多い地域への学童保育室の新設ばかりでなく、供給過多となっている地域の受入可能数や配置の見直しを行っていきます。

4 学童保育室需要数の算出方法

- (1) 児童数について

令和7年度以降は、令和6年度の小学校の在籍見込数をベースに現在の住民基本台帳の4歳から1歳児を、順次、新1年生として学齢人口に加えると同時に、6年生は順次卒業することにより除いて予測しました。

- (2) 申請率について

- ア 申請率は、令和2年度から令和6年度までの学齢人口における申請数の割合で算出します。
- イ 令和2年度から令和6年度までの各年度間の増減ポイントを合計し、5年間の平均増減ポイントを算出します。
- ウ 令和7年度の予測値は、算出した平均増減ポイントを令和6年度の申請率に加算しました。令和8年度以降も同様に前年度の申請率に平均増減ポイントを加算して算出しました。

4 学童保育室需要数の算出方法

★令和7年度以降の申請率の予測方法（例）

① 令和2年度から令和6年度までの申請率を求めます。

R2 : 35.3% R3 : 36.4% R4 : 36.2% R5 : 36.6% R6 : 40.9%



② 各年度間の増減ポイントを合計して4で割り、平均増減ポイントを算出します。

$$(1.1 - 0.2 + 0.4 + 4.3) \div 4 = 1.4 \text{ (平均増減ポイント)}$$

③ 申請率に平均増減ポイントを加算し、次年度の申請率（予測）を算出します。

R6 40.9% + 1.4pt → R7 42.3%と予測

R7 42.3% + 1.4pt → R8 43.7%と予測 以降同じ。

（3）申請数について

（2）の申請率に基づいて、低学年、高学年別に各年度の児童数（予測）から申請数を算出のうえ、それらを合算したものを全体の申請数としました。

（4）算出方法の補正

申請率の予測については、33地区別の過去3年間の申請率予測と実績の分析を踏まえ、昨年に引き続き、過去5年間の平均増減ポイントを一律に適用するのではなく、実態に合わせて補正を行いました。

今回の見直しでは、以下の地区について補正を加えました。

地区番号	地区名	補正内容
1	千住東	過去5年間（令和2年度～令和6年度）の、ある1年間のみ急激な申請率の増減（5%以上）があった場合、その1年間を除いた申請率の平均増減率で算出します。 ※ 急激な申請率の増減が直近の2年間に続いた場合は、その2年間の平均申請率を適用します。また、間隔を空けて急激な増減が繰り返される場合は、従来どおり過去5年間の平均値を適用します。
7	綾瀬	
8	加平	
13	青井	
14	中央本町	
20	西保木間	
22	梅田	
25	西新井本町・江北	
26	西新井	

（5）受入可能数について

既設学童保育室については「定員」ではなく、待機児童解消対策のため定員の弾力化により約1割程度多く設定した「受入可能数」を用いました。

（6）需要数の算出時期について

需要数については、毎年度4月1日からの学童保育需要に対応するため、これまでの9月末時点から4月1日時点の需要数を年間需要数として整備計画を策定します。

また、申請時の希望先に入室できなかった場合には、保護者に対し空きが生じる学童保育室一覧を入室不承認通知に同封し、申し出があれば他の学童保育室に優先的に案内することや児童館特例利用や放課後子ども教室を促すことで、放課後の居場所を提供し、待機児童の解消を図ります。

(7) 超過数について

各学童保育室の需要数（学童保育室を必要とする数）から受入可能数（学童保育室で受け入れることができる数）を差し引いたもので、受入可能数が需要数を満たしていない人数を超過数としています。なお、受入可能数が需要数を上回っている場合は、人数をマイナス表示しました。

(8) 大規模開発予定の需要数について

区で把握している概ね100戸以上の大規模開発等については、学齢人口の増加の要因になりますので、需要数に考慮しています。

5 整備の方向性

33地区別の需要予測をふまえたうえで、令和7年4月開設を目指して、学童保育室が不足するすべての地域に学童保育室を整備していきます。

(1) 民設学童保育室の誘致

学童保育室の整備が必要な地域において、できる限り小学校から近距離の地域に民設学童保育室の誘致を行います。

(2) 小学校内への学童保育室設置

学童保育室が不足する地区内の小学校の施設内に学童保育室の設置が可能か検討していきます。

(3) 区の未利用地の活用

区が有する未利用地を現地確認し、学童保育室の設置が可能な場所を選定します。

6 令和6年度整備予定地区（令和7年4月1日開設）

- (1) 令和7年度の超過見込数（※）が見込まれる地区は全23地区あります（8ページ参照）。

※ 各地区の需要数（学童保育室を必要とする数）から受入可能数（学童保育室で受け入れることができる数）を差し引いたもので、受入可能数が需要数を満たしていない人数を超過数としています。

- (2) 整備予定地区について

令和6年度予算案が可決された場合には、次のとおり募集を実施します。

ア 一次募集（6月実施予定）

令和7年度に超過見込数が多い地区を優先して、12地区14室【表1】を整備していきます。

【表1】一次募集（超過見込数の多い地区順）

No	地区	超過見込数（各年度4月1日時点）				
		R6	R7	R8	R9	R10
1	綾瀬（2室）	85	81	86	81	85
2	平野・島根（2室）	52	57	67	70	67
3	千住西	23	50	65	66	84
4	千住桜木・千住河原町	40	42	63	66	77
5	興本・扇	19	42	50	49	50
6	梅島	25	40	46	54	51
7	伊興北	40	36	29	22	29
8	鹿浜	12	28	42	46	49
9	西新井本町・江北	33	27	9	11	19
10	西綾瀬・足立	11	16	33	46	52
11	関原	-2	15	19	34	33
12	保塚・南花畑	19	14	8	11	21

イ 二次募集（7月実施予定）

令和7年度に超過見込数が見込まれる11地区11室【表2】で公募を実施します。

※ 二次募集は、6月に補正予算を計上し、予算案が可決された場合に実施します。

【表2】二次募集（超過見込数の多い地区順）

No	地区	超過見込数（各年度4月1日時点）				
		R6	R7	R8	R9	R10
1	中川	8	10	6	2	-8
2	江南	8	7	4	-1	-4
3	竹の塚・六月	7	6	-3	-3	-6
4	伊興南	-8	6	17	16	11
5	千住東	-8	5	-1	4	1
6	加平	10	5	7	5	5
7	千住関屋	0	4	9	8	74
8	青井	8	4	1	-8	-14
9	保木間	5	4	13	15	19
10	梅田	5	4	15	8	11
11	中央本町	-6	1	4	2	0

7 特別延長保育の拡大

区では午後6時を過ぎてお預かりが必要なお子さまのために、夜間は午後7時まで、夏休み等の学校休業期間は午前8時からお子さまをお預かりする特別延長保育を実施しています。

保護者の働き方の多様化により、特別延長保育の需要は年々増加しています。区では特別延長保育拡大に向けて、計画的に取り組んでいきます。

(1) 特別延長保育実施学童保育室（令和5年4月現在）

運営主体	全学童保育室施設数	特別延長保育実施数	特別延長保育実施率 (実施室／合計室)
直営	4施設 6室	0施設 0室	0.0%
住区センター	69施設 74室	7施設 8室	10.8%
指定管理	16施設 24室	16施設 24室	100.0%
民設	20施設 20室	20施設 20室	100.0%
合計	109施設 124室	43施設 52室	41.9%

(2) 令和6年度の特別延長保育の拡大に向けた取組み

ア 学童保育室整備

新設する民設学童保育室には、特別延長保育の実施を条件として誘致し、特別延長保育を実施する学童保育室の拡大に取り組めます。

イ 住区センターへの働きかけ

学童保育室利用者の保護者アンケートで特別延長保育の要望が多く、民設学童保育室の整備予定地区となっていない地区【表3】の学童保育室に対し、特別延長保育の実施を働きかけていきます。

【表3】令和6年度に特別延長保育実施を働きかける地区

	地 区	地区内学童保育室数	特別延長保育実施数
1	佐野・六木	3施設 3室	0施設 0室
2	花 畑	3施設 3室	0施設 0室
3	弘 道	2施設 2室	0施設 0室
4	西保木間	2施設 2室	0施設 0室
5	舎人・入谷	6施設 6室	2施設 2室

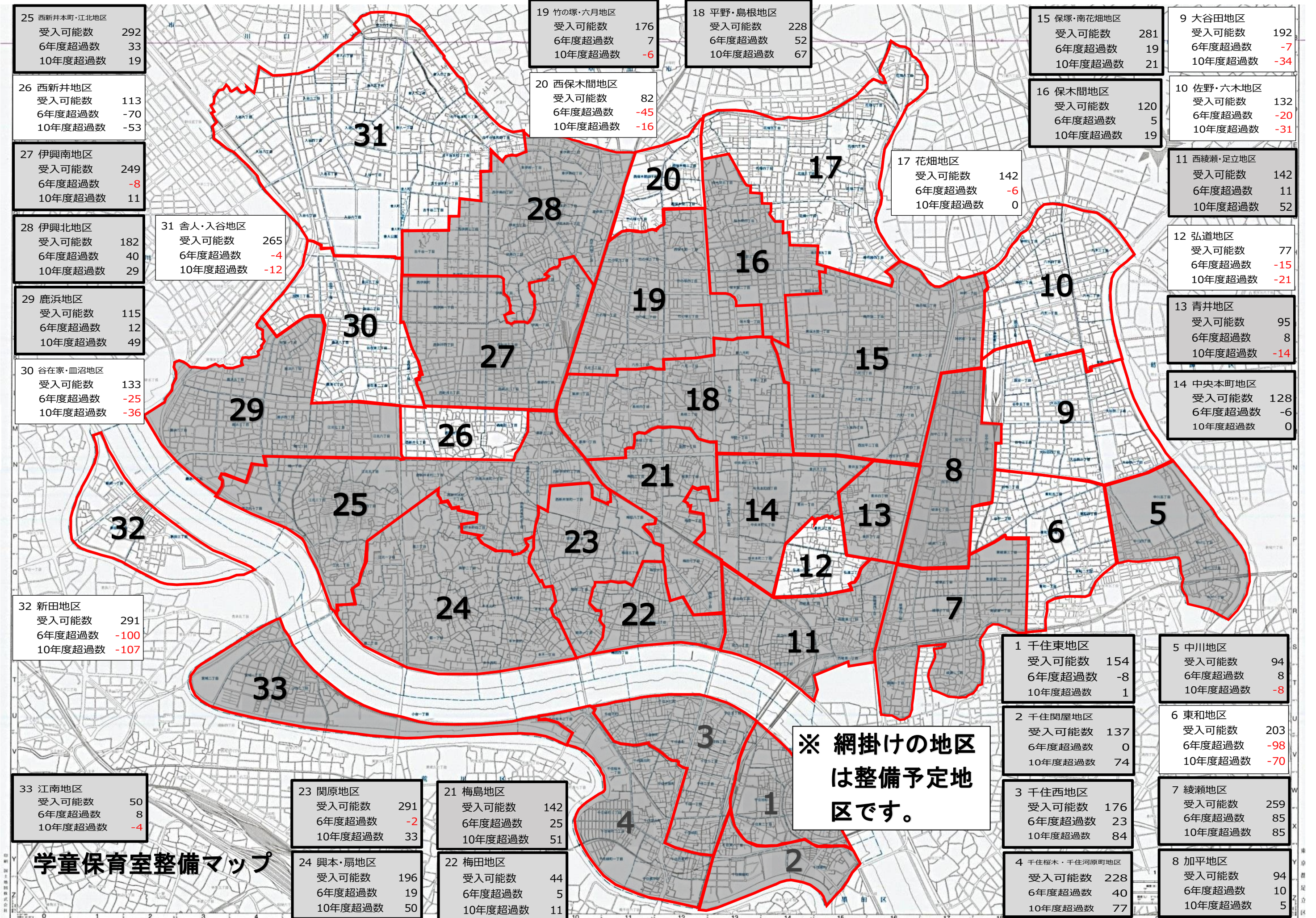
8 学童保育室 地区別・年度別需要予測数と整備計画（各年度4月1日時点）

※ 網掛けは整備予定地域です。

地域	地区	室数	定員	定員 弾力化	受入 可能数	超過見込数（4月1日需要数）				
						6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
1 千住	1 千住東	4	145	9	154	-8	5	-1	4	1
	2 千住関屋	3	125	12	137	0	4	9	8	74
	3 千住西	4	172	4	176	23	50	65	66	84
	4 千住桜木・千住河原町	5	211	17	228	40	42	63	66	77
2 綾瀬	5 中川	2	90	4	94	8	10	6	2	-8
	6 東和	5	190	13	203	-98	-89	-72	-74	-70
	7 綾瀬	5	240	19	259	85	81	86	81	85
	8 加平	2	90	4	94	10	5	7	5	5
3 大谷田・佐野	9 大谷田	5	175	17	192	-7	-10	-18	-31	-34
	10 佐野・六木	3	120	12	132	-20	-19	-17	-27	-31
4 中央本町	11 西綾瀬・足立	3	135	7	142	11	16	33	46	52
	12 弘道	2	70	7	77	-15	-20	-20	-25	-21
	13 青井	2	87	8	95	8	4	1	-8	-14
	14 中央本町	3	115	13	128	-6	1	4	2	0
5 花畑・保塚	15 保塚・南花畑	6	255	26	281	19	14	8	11	21
	16 保木間	3	110	10	120	5	4	13	15	19
	17 花畑	3	135	7	142	-6	-2	5	4	0
6 竹の塚・六月	18 平野・島根	5	210	18	228	52	57	67	70	67
	19 竹の塚・六月	4	160	16	176	7	6	-3	-3	-6
	20 西保木間	2	75	7	82	-45	-36	-29	-22	-16
7 梅島	21 梅島	4	135	7	142	25	40	46	54	51
	22 梅田	1	40	4	44	5	4	15	8	11
	23 関原	6	270	21	291	-2	15	19	34	33
8 西新井・江北	24 興本・扇	5	180	16	196	19	42	50	49	50
	25 西新井本町・江北	6	270	22	292	33	27	9	11	19
	26 西新井	3	107	6	113	-70	-69	-61	-56	-53
9 伊興	27 伊興南	6	238	11	249	-8	6	17	16	11
	28 伊興北	4	170	12	182	40	36	29	22	29
10 鹿浜・舎人	29 鹿浜	3	105	10	115	12	28	42	46	49
	30 谷在家・皿沼	3	125	8	133	-25	-25	-29	-30	-36
	31 舎人・入谷	6	245	20	265	-4	-4	-13	-4	-12
11 新田・江南	32 新田	6	270	21	291	-100	-104	-102	-102	-107
	33 江南	1	50	0	50	8	7	4	-1	-4
合 計		125	5,115	388	5,503					

※ 33地区別の詳しい状況は12ページ以降を参照

※ 関原地区は、令和6年度新設分の整備後の数値です。



9 学童保育室整備計画一覧

(1) 令和6年度整備（令和7年4月1日開設）予定地区

次の23地区25か所に学童保育室を整備していきます。

年 度 (開設年度)	整備予定地区（令和7年4月1日開設地区） ※ 地区番号は9ページ整備計画マップ参照	増室・増員
令和7年度	・地区1 千住東地区に民設学童誘致 1室30人程度	25室新設 合計870人 程度
	・地区2 千住関屋地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区3 千住西地区に民設学童誘致 1室50人程度	
	・地区4 千住桜木・千住河原町地区に民設学童誘致 1室40人程度	
	・地区5 中川地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区7 綾瀬地区に民設学童誘致 2室80人程度	
	・地区8 加平地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区11 西綾瀬・足立地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区13 青井地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区14 中央本町地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区15 保塚・南花畑地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区16 保木間地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区18 平野・島根地区に民設学童誘致 2室80人程度	
	・地区19 竹の塚・六月地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区21 梅島地区に民設学童誘致 1室40人程度	
	・地区22 梅田地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区23 関原地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区24 興本・扇地区に民設学童誘致 1室40人程度	
	・地区25 西新井本町・江北地区に民設学童誘致 1室40人程度	
	・地区27 伊興南地区に民設学童誘致 1室30人程度	
	・地区28 伊興北地区に民設学童誘致 1室40人程度	
	・地区29 鹿浜地区に民設学童誘致 1室40人程度	
	・地区33 江南地区に民設学童誘致 1室30人程度	

9 学童保育室整備計画一覧

(2) これまでの整備実績

年 度 (開設年度)	令和3年度～6年度の整備実績 人数は定員数	増室・増員
令和3年度	1 民設学童保育室 3 地区 ・ 地区3 千住西地区 1 室 40 人 ・ 地区4 千住桜木・千住河原町地区 1 室 42 人 ・ 地区23 関原地区 1 室 40 人	3 室新設 合計 122 人
令和4年度	1 指定管理学童保育室 2 地区 ・ 地区7 綾瀬小学校内 1 室 50 人 ・ 地区25 江北小学校内 1 室 50 人 2 民設学童保育室募集地区 1 地区 ・ 地区31 舎人・入谷地区 1 室 50 人	3 室新設 合計 150 人
令和5年度	1 指定管理学童保育室 1 地区 ・ 地区29 鹿浜未来小学校内 2 室 65 人 ※ 65名のうち40名分は「鹿浜西学童保育室」の移転分のため、実質25名分の増 2 民設学童保育室 1 地区 地区3 千住西地区 1 室 40 人 【募集地区】 ・ 地区3 千住西地区 ・ 地区4 千住桜木・千住河原町地区 ・ 地区5 中川地区 ・ 地区8 加平地区	3 室新設 合計 65 人
令和6年度	1 民設学童保育室 1 地区 地区23 関原地区 1 室 40 人 【募集地区】 ・ 地区5 中川地区 ・ 地区8 加平地区 ・ 地区18 平野・島根地区 ・ 地区23 関原地区 ・ 地区7 綾瀬地区 ・ 地区13 青井地区 ・ 地区21 梅島地区 ・ 地区27 伊興南地区	1 室新設 合計 40 人

10 学童保育室 33地区別需要予測等の状況

地区1 千住東地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	259	243	250	262	251	255	245
	第一希望申請数 B	117	136	127	140	134	136	131
	申請率 C(%) C=B/A	45.2%	56.0%	50.8%	53.4%	53.4%	53.4%	53.4%
高学年	学齢人口 D	295	286	261	253	243	250	262
	第一希望申請数 E	28	27	32	32	32	35	37
	申請率 F(%) F=E/D	9.5%	9.4%	12.3%	12.8%	13.3%	13.8%	14.3%
全学年	学齢人口	554	529	511	515	494	505	507
	第一希望申請数	145	163	159	172	166	171	168
	4/1 時点需要数 G	127	158	146	159	153	158	155
	4/1 の定員数	145	145	145	145	145	145	145
	4/1 の受入可能数 H※	154	154	154	154	154	154	154
	超過数 I I=G-H	-27	4	-8	5	-1	4	1
	5/1 の待機児童数	3	13					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率 C、F に誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【千住東地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
千住あずま	1	50		住区センター	①千寿常東小学校
千寿常東	1	44		住区センター	
日の出わくわくクラブ	1	33	○	民設	
日の出わくわくクラブ第二	1	27	○	民設	
地区内 計	4	154			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はほぼ横ばいで推移していきますが、申請率がやや上昇していくため、需要数はやや増加していきます。
- 2 超過数がほぼ横ばいの状態が続きますが、一定の超過数が見込まれることから、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区2 千住関屋地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	253	240	219	212	208	199	274
	第一希望申請数 B	121	120	118	118	120	118	167
	申請率 C(%) C=B/A	47.8%	50.0%	53.9%	55.7%	57.5%	59.3%	61.1%
高学年	学齢人口 D	262	266	251	250	240	219	289
	第一希望申請数 E	18	18	26	30	33	34	51
	申請率 F(%) F=E/D	6.9%	6.8%	10.4%	12.1%	13.9%	15.7%	17.5%
全学年	学齢人口	515	506	470	462	448	418	563
	第一希望申請数	139	138	144	148	153	152	218
	4/1 時点需要数 G	130	136	137	141	146	145	211
	4/1 の定員数	125	125	125	125	125	125	125
	4/1 の受入可能数 H※	137	137	137	137	137	137	137
	超過数 I I=G-H	-7	-1	0	4	9	8	74
	5/1 の待機児童数	5	5					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【千住関屋地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
桑の実千住あけぼの	1	38	○	民設	①千寿第八小学校
せきや	2	99	○	指定管理	
地区内 計	3	137			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口が増加していき、申請率も上昇していくため、需要数は増加していきます。
- 2 今後も超過数が増加する見込みであることから、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区3 千住西地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	440	411	409	421	414	379	377
	第一希望申請数 B	147	156	167	186	197	193	205
	申請率 C(%) C=B/A	33.4%	38.0%	40.8%	44.2%	47.6%	51.0%	54.4%
高学年	学齢人口 D	432	431	433	453	428	426	421
	第一希望申請数 E	19	12	38	46	50	55	61
	申請率 F(%) F=E/D	4.4%	2.8%	8.8%	10.2%	11.6%	13.0%	14.4%
全学年	学齢人口	872	842	842	874	842	805	798
	第一希望申請数	166	168	205	232	247	248	266
	4/1 時点需要数 G	166	159	199	226	241	242	260
	4/1 の定員数	130	170	172	172	172	172	172
	4/1 の受入可能数 H※	134	174	176	176	176	176	176
	超過数 I I=G-H	32	-15	23	50	65	66	84
	5/1 の待機児童数	19	5					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【千住西地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
千住本町	1	44		住区センター	①千寿双葉小学校 ②千寿本町小学校
ふたば	1	50		住区センター	
Mo-ne 千住寿町	1	40	○	民設	
Mo-ne やなぎちょう	1	42	○	民設	
地区内 計	4	176			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 これまで待機児童が多かったため、令和5年度に Mo-ne やなぎちょうを1室開設しました。
- 2 学齢人口はやや減少していきますが、申請率が上昇していくため、需要数は増加していきます。
- 3 今後も超過数が増加する見込みであることから、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区4 千住桜木・千住河原町地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	743	722	680	652	667	650	649
	第一希望申請数 B	262	250	254	254	271	274	284
	申請率 C(%) C=B/A	35.3%	34.6%	37.4%	39.0%	40.6%	42.2%	43.8%
高学年	学齢人口 D	616	690	746	742	783	741	713
	第一希望申請数 E	8	13	27	29	33	33	34
	申請率 F(%) F=E/D	1.3%	1.9%	3.6%	3.9%	4.2%	4.5%	4.8%
全学年	学齢人口	1359	1412	1426	1394	1450	1391	1362
	第一希望申請数	270	263	281	283	304	307	318
	4/1 時点需要数 G	258	253	268	270	291	294	305
	4/1 の定員数	211	211	211	211	211	211	211
	4/1 の受入可能数 H※	228	228	228	228	228	228	228
	超過数 I I=G-H	30	25	40	42	63	66	77
	5/1 の待機児童数	27	11					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【千住桜木・千住河原町地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
学童保育じゃんぷ千寿クラブ	1	46	○	民設	①千寿小学校 ②千寿桜小学校
さくらっこ	1	50		住区センター	
千寿	1	55	○	指定管理	
千住河原町	2	77	○	住区センター	
地区内 計	5	228			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はやや減少していきませんが、申請率が上昇していくため、需要数は増加していきます。
- 2 今後も超過数が増加する見込みであることから、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区5 中川地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	令和 9	令和 10
低学年	学齢人口 A	294	294	281	290	282	273	250
	第一希望申請数 B	117	103	100	103	99	96	87
	申請率 C (%) $C=B/A$	39.8%	35.0%	35.6%	35.4%	35.2%	35.0%	34.8%
高学年	学齢人口 D	264	278	276	290	294	281	290
	第一希望申請数 E	5	5	5	4	4	3	2
	申請率 F (%) $F=E/D$	1.9%	1.8%	1.8%	1.5%	1.2%	0.9%	0.6%
全学年	学齢人口	558	572	557	580	576	554	540
	第一希望申請数	122	108	105	107	103	99	89
	4/1 時点需要数 G	122	106	102	104	100	96	86
	4/1 の定員数	90	90	90	90	90	90	90
	4/1 の受入可能数 H※	94	94	94	94	94	94	94
	超過数 I $I=G-H$	28	12	8	10	6	2	-8
	5/1 の待機児童数	16	6					

※ 令和 7 年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率 C、F に誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【中川地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
なかよし	1	50	○	指定管理	①大谷田小学校
長門	1	44		住区センター	②長門小学校
地区内 計	2	94			

【今後 5 年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はやや減少していき、申請率の変動が少ないことから、需要数はやや減少していきます。
- 2 今後も一定の超過数が見込まれることから、令和 7 年 4 月 1 日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区6 東和地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	408	386	403	451	522	525	543
	第一希望申請数 B	146	127	119	129	146	142	143
	申請率 C(%) C=B/A	35.8%	32.9%	29.5%	28.7%	27.9%	27.1%	26.3%
高学年	学齢人口 D	471	449	440	410	386	403	451
	第一希望申請数 E	18	15	22	21	21	23	26
	申請率 F(%) F=E/D	3.8%	3.3%	5.0%	5.2%	5.4%	5.6%	5.8%
全学年	学齢人口	879	835	843	861	908	928	994
	第一希望申請数	164	142	141	150	167	165	169
	4/1 時点需要数 G	128	87	105	114	131	129	133
	4/1 の定員数	190	190	190	190	190	190	190
	4/1 の受入可能数 H※	203	203	203	203	203	203	203
	超過数 I I=G-H	-75	-116	-98	-89	-72	-74	-70
	5/1 の待機児童数	2	2					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の1割程度の人数）を加えたものです。

【東和地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
東和	1	50	○	住区センター	①北三谷小学校 ②東湊江小学校
東和分室	2	70		住区センター	
東和わくわく	1	50	○	民設	
東綾瀬分室	1	33		住区センター	
地区内 計	5	203			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 低学年の申請率は下降していきますが、学齢人口が増加していくため、需要数は増加していきます。
- 2 受入可能数が需要数を上回る状態が続くため、需要数の動向を注視していきます。

地区7 綾瀬地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	令和 9	令和 10
低学年	学齢人口 A	670	662	730	698	691	657	653
	第一希望申請数 B	224	262	318	311	314	306	310
	申請率 C(%) C=B/A	33.4%	39.6%	43.6%	44.5%	45.5%	46.5%	47.5%
高学年	学齢人口 D	623	646	708	717	718	730	698
	第一希望申請数 E	24	33	33	36	38	41	41
	申請率 F(%) F=E/D	3.9%	5.1%	4.7%	5.0%	5.3%	5.6%	5.9%
全学年	学齢人口	1293	1308	1438	1415	1409	1387	1351
	第一希望申請数	248	295	351	347	352	347	351
	4/1 時点需要数 G	227	295	344	340	345	340	344
	4/1 の定員数	240	240	240	240	240	240	240
	4/1 の受入可能数 H※	259	259	259	259	259	259	259
	超過数 I I=G-H	-32	36	85	81	86	81	85
	5/1 の待機児童数	1	14					

※ 令和 7 年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率 C、F に誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【綾瀬地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
綾瀬	1	4 4		住区センター	①綾瀬小学校 ②東綾瀬小学校
さくら	3	1 6 5	○	指定管理	
東綾瀬	1	5 0		住区センター	
地区内 計	5	2 5 9			

【今後 5 年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 令和 4 年度、綾瀬小学校の改築時にさくら学童保育室を 3 室開設（1 室増室）しました。
- 2 学齢人口は減少していきますが、申請率が上昇していくため、需要数はほぼ横ばいで推移していきます。
- 3 引き続き超過数が多く見込まれることから、令和 7 年 4 月 1 日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区8 加平地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	令和 9	令和 10
低学年	学齢人口 A	296	310	346	330	336	330	330
	第一希望申請数 B	123	93	107	105	108	106	106
	申請率 C (%) $C=B/A$	41.6%	30.0%	30.9%	31.9%	32.0%	32.1%	32.2%
高学年	学齢人口 D	279	268	282	295	310	346	330
	第一希望申請数 E	15	4	4	1	0	0	0
	申請率 F (%) $F=E/D$	5.4%	1.5%	1.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
全学年	学齢人口	575	578	628	625	646	676	660
	第一希望申請数	138	97	111	106	108	106	106
	4/1 時点需要数 G	132	93	104	99	101	99	99
	4/1 の定員数	90	90	90	90	90	90	90
	4/1 の受入可能数 H※	94	94	94	94	94	94	94
	超過数 I $I=G-H$	38	-1	10	5	7	5	5
	5/1 の待機児童数	5	0					

※ 令和 7 年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率 C、F に誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【加平地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
加平	1	44		住区センター	①東加平小学校
谷中わくわく	1	50	○	民設	
地区内 計	2	94			

【今後 5 年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 低学年の学齢人口はやや減少していきますが、申請率がやや上昇していくため、需要数はほぼ横ばいで推移していきます。
- 2 今後も一定の超過数が見込まれるため、令和 7 年 4 月 1 日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区9 大谷田地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	563	550	533	503	460	410	387
	第一希望申請数 B	185	161	173	171	163	151	149
	申請率 C(%) C=B/A	32.9%	29.3%	32.5%	33.9%	35.4%	36.9%	38.4%
高学年	学齢人口 D	601	586	566	561	550	533	503
	第一希望申請数 E	27	27	28	27	27	26	25
	申請率 F(%) F=E/D	4.5%	4.6%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%
全学年	学齢人口	1164	1136	1099	1064	1010	943	890
	第一希望申請数	212	188	201	198	190	177	174
	4/1 時点需要数 G	200	170	185	182	174	161	158
	4/1 の定員数	175	175	175	175	175	175	175
	4/1 の受入可能数 H※	192	192	192	192	192	192	192
	超過数 I I=G-H	8	-22	-7	-10	-18	-31	-34
	5/1 の待機児童数	7	4					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【大谷田地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
大谷田	1	44		住区センター	①辰沼小学校 ②中川小学校 ③中川東小学校
大谷田谷中	1	44	○	住区センター	
すばる	1	38	○	住区センター	
たんぽぽ	1	33		住区センター	
ひがし	1	33		住区センター	
地区内 計	5	192			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 申請率はやや上昇していきますが、学齢人口が減少していくため、需要数は減少していきます。
- 2 受入可能数が需要数を上回る状態が続くため、需要数の動向を注視していきます。

地区10 佐野・六木地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	440	429	428	426	437	389	372
	第一希望申請数 B	105	99	98	95	95	82	76
	申請率 C(%) C=B/A	23.9%	23.1%	22.9%	22.3%	21.7%	21.1%	20.5%
高学年	学齢人口 D	483	466	437	446	429	428	426
	第一希望申請数 E	18	18	24	28	30	33	35
	申請率 F(%) F=E/D	3.7%	3.9%	5.5%	6.2%	6.9%	7.6%	8.3%
全学年	学齢人口	923	895	865	872	866	817	798
	第一希望申請数	123	117	122	123	125	115	111
	4/1 時点需要数 G	116	105	112	113	115	105	101
	4/1 の定員数	120	120	120	120	120	120	120
	4/1 の受入可能数 H※	132	132	132	132	132	132	132
	超過数 I I=G-H	-16	-27	-20	-19	-17	-27	-31
	5/1 の待機児童数	1	0					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【佐野・六木地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
佐野	1	44		住区センター	①中川北小学校 ②六木小学校
神明	1	44		住区センター	
六木	1	44		住区センター	
地区内 計	3	132			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口がやや減少していき、申請率の変動が少ないことから、需要数はやや減少していきます。
- 2 受入可能数が需要数を上回る状態が続くため、需要数の動向を注視していきます。

地区11 西綾瀬・足立地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	403	385	360	366	398	420	422
	第一希望申請数 B	145	141	137	142	158	171	176
	申請率 C(%) C=B/A	36.0%	36.6%	38.1%	38.9%	39.8%	40.7%	41.6%
高学年	学齢人口 D	449	426	429	403	385	360	366
	第一希望申請数 E	18	20	17	17	18	18	19
	申請率 F(%) F=E/D	4.0%	4.7%	4.0%	4.3%	4.6%	4.9%	5.2%
全学年	学齢人口	852	811	789	769	783	780	788
	第一希望申請数	163	161	154	159	176	189	195
	4/1 時点需要数 G	163	161	153	158	175	188	194
	4/1 の定員数	135	135	135	135	135	135	135
	4/1 の受入可能数 H※	142	142	142	142	142	142	142
	超過数 I I=G-H	21	19	11	16	33	46	52
	5/1 の待機児童数	16	10					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の1割程度の人数）を加えたものです。

【西綾瀬・足立地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
足立	1	54	○	指定管理	①足立小学校 ②弘道小学校
五反野	1	50	○	住区センター	
西綾瀬	1	38		住区センター	
地区内 計	3	142			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 低学年の学齢人口が増加し、申請率も上昇するため、需要数は増加していきます。
- 2 引き続き超過数が多く見込まれることから、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区12 弘道地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	154	150	158	145	141	123	137
	第一希望申請数 B	58	54	54	49	47	40	44
	申請率 C(%) $C=B/A$	37.7%	36.0%	34.2%	33.6%	33.1%	32.6%	32.1%
高学年	学齢人口 D	171	167	164	151	150	158	145
	第一希望申請数 E	10	11	15	15	17	19	19
	申請率 F(%) $F=E/D$	5.8%	6.6%	9.1%	10.1%	11.1%	12.1%	13.1%
全学年	学齢人口	325	317	322	296	291	281	282
	第一希望申請数	68	65	69	64	64	59	63
	4/1 時点需要数 G	57	59	62	57	57	52	56
	4/1 の定員数	70	70	70	70	70	70	70
	4/1 の受入可能数 H※	77	77	77	77	77	77	77
	超過数 I $I=G-H$	-20	-18	-15	-20	-20	-25	-21
	5/1 の待機児童数	0	1					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【弘道地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
弘道	1	44		住区センター	①弘道第一小学校
たいよう	1	33		住区センター	
地区内 計	2	77			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口がやや減少していき、低学年の申請率がやや下降していくため、需要数はやや減少していきます。
- 2 受入可能数が需要数を上回る状態が続くため、需要数の動向を注視していきます。

地区13 青井地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	177	180	181	173	169	151	142
	第一希望申請数 B	89	97	93	89	87	78	73
	申請率 C(%) C=B/A	50.3%	53.9%	51.4%	51.4%	51.4%	51.4%	51.4%
高学年	学齢人口 D	183	185	168	174	180	181	173
	第一希望申請数 E	20	19	12	12	11	11	10
	申請率 F(%) F=E/D	10.9%	10.3%	7.1%	6.7%	6.3%	5.9%	5.5%
全学年	学齢人口	360	365	349	347	349	332	315
	第一希望申請数	109	116	105	101	98	89	83
	4/1 時点需要数 G	109	115	103	99	96	87	81
	4/1 の定員数	87	87	87	87	87	87	87
	4/1 の受入可能数 H※	95	95	95	95	95	95	95
	超過数 I I=G-H	14	20	8	4	1	-8	-14
	5/1 の待機児童数	11	10					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【青井地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
青井	1	44		住区センター	①青井小学校
青井わくわく	1	51	○	民設	
地区内 計	2	95			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 低学年の申請率は横ばいで推移していきますが、低学年の学齢人口が減少していくため、需要数はやや減少していきます。
- 2 今後も一定の超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区14 中央本町地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	422	369	356	379	390	377	359
	第一希望申請数 B	102	99	114	122	126	123	118
	申請率 C(%) C=B/A	24.2%	26.8%	32.0%	32.2%	32.4%	32.6%	32.8%
高学年	学齢人口 D	436	438	460	415	369	356	379
	第一希望申請数 E	13	18	24	23	22	23	26
	申請率 F(%) F=E/D	3.0%	4.1%	5.2%	5.6%	6.0%	6.4%	6.8%
全学年	学齢人口	858	807	816	794	759	733	738
	第一希望申請数	115	117	138	145	148	146	144
	4/1 時点需要数 G	98	103	122	129	132	130	128
	4/1 の定員数	115	115	115	115	115	115	115
	4/1 の受入可能数 H※	128	128	128	128	128	128	128
	超過数 I I=G-H	-30	-25	-6	1	4	2	0
	5/1 の待機児童数	4	1					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【中央本町地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
栗島	1	44		住区センター	①栗島小学校 ②弥生小学校
中央本町	1	44		住区センター	
やよい	1	40		住区センター	
地区内 計	3	128			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はやや減少していきますが、申請率がやや上昇していくため、需要数はほぼ横ばいで推移していきます。
- 2 今後は一定の超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区15 保塚・南花畑地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	884	884	855	806	758	739	742
	第一希望申請数 B	268	288	288	282	275	278	289
	申請率 C(%) C=B/A	30.3%	32.6%	33.7%	35.0%	36.3%	37.6%	38.9%
高学年	学齢人口 D	879	891	889	887	884	855	806
	第一希望申請数 E	40	28	29	30	31	31	30
	申請率 F(%) F=E/D	4.6%	3.1%	3.3%	3.4%	3.5%	3.6%	3.7%
全学年	学齢人口	1763	1775	1744	1693	1642	1594	1548
	第一希望申請数	308	316	317	312	306	309	319
	4/1 時点需要数 G	294	314	300	295	289	292	302
	4/1 の定員数	255	255	255	255	255	255	255
	4/1 の受入可能数 H※	281	281	281	281	281	281	281
	超過数 I I=G-H	13	33	19	14	8	11	21
	5/1 の待機児童数	19	38					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率 C、F に誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の割程度の数）を加えたものです。

【保塚・南花畑地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
あおぞら	1	5 0	○	住区センター	①加平小学校 ②花畑小学校 ③花保小学校 ④東栗原小学校
桑の実ひとつや	1	4 4	○	民設	
花保	1	4 4		住区センター	
東栗原	1	5 5	○	指定管理	
保塚	1	4 4		住区センター	
南花畑	1	4 4		住区センター	
地区内 計	6	2 8 1			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口は減少していきますが、申請率が上昇していくため、需要数はほぼ横ばいで推移していきます。
- 2 引き続き超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組めます。

地区16 保木間地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	277	262	266	242	248	233	234
	第一希望申請数 B	104	96	105	100	108	106	111
	申請率 C(%) $C=B/A$	37.5%	36.6%	39.5%	41.4%	43.4%	45.4%	47.4%
高学年	学齢人口 D	277	278	269	278	262	266	242
	第一希望申請数 E	19	19	23	27	28	32	31
	申請率 F(%) $F=E/D$	6.9%	6.8%	8.6%	9.7%	10.8%	11.9%	13.0%
全学年	学齢人口	554	540	535	520	510	499	476
	第一希望申請数	123	115	128	127	136	138	142
	4/1 時点需要数 G	121	115	125	124	133	135	139
	4/1 の定員数	110	110	110	110	110	110	110
	4/1 の受入可能数 H※	120	120	120	120	120	120	120
	超過数 I $I=G-H$	1	-5	5	4	13	15	19
	5/1 の待機児童数	7	0					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【保木間地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
ドリーム保木間クラブ	1	38	○	民設	① 湊江第一小学校
湊江第一	2	82		直営	
地区内 計	3	120			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はやや減少していきませんが、申請率が上昇していくため、需要数はやや増加していきます。
- 2 引き続き超過数が見込まれることから、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区17 花畑地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	554	494	458	451	457	437	412
	第一希望申請数 B	139	125	132	135	143	142	138
	申請率 C(%) C=B/A	25.1%	25.3%	28.8%	30.0%	31.2%	32.4%	33.6%
高学年	学齢人口 D	554	572	573	562	494	458	451
	第一希望申請数 E	11	14	10	11	10	10	10
	申請率 F(%) F=E/D	2.0%	2.4%	1.7%	1.9%	2.0%	2.1%	2.2%
全学年	学齢人口	1108	1066	1031	1013	951	895	863
	第一希望申請数	150	139	142	146	153	152	148
	4/1 時点需要数 G	147	124	136	140	147	146	142
	4/1 の定員数	135	135	135	135	135	135	135
	4/1 の受入可能数 H※	142	142	142	142	142	142	142
	超過数 I I=G-H	5	-18	-6	-2	5	4	0
	5/1 の待機児童数	8	8					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【花畑地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
桜花	1	44		住区センター	①桜花小学校
花畑	1	50		住区センター	②花畑第一小学校
花畑第一	1	48		直営	③花畑西小学校
地区内 計	3	142			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口は減少していきますが、申請率が上昇していくため、需要数はほぼ横ばいで推移していきます。
- 2 引き続き需要数の動向を注視していきます。

地区18 平野・島根地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	683	665	638	614	607	583	548
	第一希望申請数 B	218	228	240	243	251	252	248
	申請率 C(%) C=B/A	31.9%	34.3%	37.6%	39.5%	41.4%	43.3%	45.2%
高学年	学齢人口 D	719	707	707	686	665	638	614
	第一希望申請数 E	33	33	41	43	45	47	48
	申請率 F(%) F=E/D	4.6%	4.7%	5.8%	6.3%	6.8%	7.3%	7.8%
全学年	学齢人口	1402	1372	1345	1300	1272	1221	1162
	第一希望申請数	251	261	281	286	296	299	296
	4/1 時点需要数 G	251	260	280	285	295	298	295
	4/1 の定員数	210	210	210	210	210	210	210
	4/1 の受入可能数 H※	228	228	228	228	228	228	228
	超過数 I I=G-H	23	32	52	57	67	70	67
	5/1 の待機児童数	14	29					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【平野・島根地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
くすの木	1	33		住区センター	①島根小学校 ②中島根小学校 ③平野小学校
島根	1	44		住区センター	
しまねっ子	1	55	○	指定管理	
中島根	1	52	○	指定管理	
平野	1	44		住区センター	
地区内 計	5	228			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はやや減少していきませんが、申請率が上昇していくため、需要数はやや増加していきます。
- 2 引き続き超過数が多く見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区19 竹の塚・六月地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	481	490	499	499	467	466	455
	第一希望申請数 B	145	130	150	151	142	143	140
	申請率 C(%) C=B/A	30.1%	26.5%	30.1%	30.2%	30.4%	30.6%	30.8%
高学年	学齢人口 D	543	518	515	499	505	498	498
	第一希望申請数 E	39	47	38	36	36	35	35
	申請率 F(%) F=E/D	7.2%	9.1%	7.4%	7.3%	7.2%	7.1%	7.0%
全学年	学齢人口	1024	1008	1014	998	972	964	953
	第一希望申請数	184	177	188	187	178	178	175
	4/1 時点需要数 G	183	168	183	182	173	173	170
	4/1 の定員数	160	160	160	160	160	160	160
	4/1 の受入可能数 H※	176	176	176	176	176	176	176
	超過数 I I=G-H	7	-8	7	6	-3	-3	-6
	5/1 の待機児童数	8	6					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【竹の塚・六月地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
たけのこ	1	44		住区センター	①竹の塚小学校 ②湊江小学校 ③保木間小学校
竹の塚	1	44	○	指定管理	
竹の塚六月	1	44		住区センター	
湊江	1	44		住区センター	
地区内 計	4	176			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はやや減少していき、申請率の変動が少ないことから、需要数はやや減少していきます。
- 2 今後も一定の超過が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組めます。

地区20 西保木間地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	77	85	104	120	129	125	119
	第一希望申請数 B	37	36	44	52	56	56	54
	申請率 C(%) C=B/A	48.1%	42.4%	42.3%	43.0%	43.7%	44.4%	45.1%
高学年	学齢人口 D	96	84	84	80	85	104	120
	第一希望申請数 E	14	19	22	23	26	33	41
	申請率 F(%) F=E/D	14.6%	22.6%	26.2%	28.2%	30.2%	32.2%	34.2%
全学年	学齢人口	173	169	188	200	214	229	239
	第一希望申請数	51	55	66	75	82	89	95
	4/1 時点需要数 G	20	30	37	46	53	60	66
	4/1 の定員数	75	75	75	75	75	75	75
	4/1 の受入可能数 H※	82	82	82	82	82	82	82
	超過数 I I=G-H	-62	-52	-45	-36	-29	-22	-16
	5/1 の待機児童数	0	1					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の1割程度の人数）を加えたものです。

【西保木間地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
西保木間児童館	1	44		住区センター	①西保木間小学校
ゆずりは	1	38		直営	
地区内 計	2	82			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口が増加していき、申請率も上昇していくため、需要数は増加していきます。
- 2 受入可能数が需要数を上回っている状態が続くため、需要数の動向を注視していきます。

地区21 梅島地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	420	405	414	430	428	424	397
	第一希望申請数 B	135	144	154	167	173	178	173
	申請率 C(%) C=B/A	32.1%	35.6%	37.2%	38.8%	40.4%	42.0%	43.6%
高学年	学齢人口 D	440	446	426	417	405	414	430
	第一希望申請数 E	28	20	21	23	23	26	28
	申請率 F(%) F=E/D	6.4%	4.5%	4.9%	5.4%	5.8%	6.2%	6.6%
全学年	学齢人口	860	851	840	847	833	838	827
	第一希望申請数	163	164	175	190	196	204	201
	4/1 時点需要数 G	154	159	167	182	188	196	193
	4/1 の定員数	135	135	135	135	135	135	135
	4/1 の受入可能数 H※	142	142	142	142	142	142	142
	超過数 I I=G-H	12	17	25	40	46	54	51
	5/1 の待機児童数	13	10					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の1割程度の人数）を加えたものです。

【梅島地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
梅島	1	44		住区センター	①梅島小学校 ②梅島第一小学校
学童ひまわり	1	33	○	民設	
つくしんぼ	2	65		住区センター	
地区内 計	4	142			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はほぼ横ばいで推移していきませんが、申請率が上昇していくため、需要数は増加していきます。
- 2 引き続き超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区22 梅田地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	146	134	145	148	189	172	188
	第一希望申請数 B	57	46	48	48	59	52	55
	申請率 C(%) C=B/A	39.0%	34.3%	33.1%	32.2%	31.3%	30.4%	29.5%
高学年	学齢人口 D	156	165	158	156	134	145	148
	第一希望申請数 E	0	0	1	0	0	0	0
	申請率 F(%) F=E/D	0.0%	0.0%	0.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
全学年	学齢人口	302	299	303	304	323	317	336
	第一希望申請数	57	46	49	48	59	52	55
	4/1 時点需要数 G	57	46	49	48	59	52	55
	4/1 の定員数	40	40	40	40	40	40	40
	4/1 の受入可能数 H※	44	44	44	44	44	44	44
	超過数 I I=G-H	13	2	5	4	15	8	11
	5/1 の待機児童数	3	2					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【梅田地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
梅田	1	44		住区センター	①梅島第二小学校
地区内 計	1	44			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 申請率はやや下降していきますが、低学年の学齢人口が増加していくため、需要数はやや増加していきます。
- 2 引き続き超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区23 関原地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	564	551	551	552	527	525	493
	第一希望申請数 B	217	208	236	250	252	264	260
	申請率 C(%) C=B/A	38.5%	37.7%	42.8%	45.3%	47.8%	50.3%	52.8%
高学年	学齢人口 D	658	608	559	558	551	551	552
	第一希望申請数 E	51	64	60	63	65	68	71
	申請率 F(%) F=E/D	7.8%	10.5%	10.7%	11.3%	11.8%	12.3%	12.8%
全学年	学齢人口	1222	1159	1110	1110	1078	1076	1045
	第一希望申請数	268	272	296	313	317	332	331
	4/1 時点需要数 G	264	272	289	306	310	325	324
	4/1 の定員数	230	230	270	270	270	270	270
	4/1 の受入可能数 H※	251	251	291	291	291	291	291
	超過数 I I=G-H	13	21	-2	15	19	34	33
	5/1 の待機児童数	9	17					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【関原地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
ウィルキッズフィールド [®] 足立関原クラブ	1	40	○	民設	①亀田小学校 ②関原小学校
亀田	3	165	○	指定管理	
学童クラブ Ohana 関原教室	1	42	○	民設	
本木関原	1	44		住区センター	
地区内 計	6	291			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 これまで待機児童が多かったため、令和6年度にウィルキッズフィールド足立関原クラブを1室開設します。
- 2 学齢人口はやや減少していきませんが、申請率が上昇していくため、需要数は増加していきます。
- 3 今後も超過数の増加が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区24 興本・扇地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	719	710	712	754	740	699	653
	第一希望申請数 B	185	184	187	207	212	208	202
	申請率 C(%) C=B/A	25.7%	25.9%	26.3%	27.4%	28.6%	29.8%	31.0%
高学年	学齢人口 D	774	749	743	724	710	712	754
	第一希望申請数 E	25	29	32	35	38	41	48
	申請率 F(%) F=E/D	3.2%	3.9%	4.3%	4.8%	5.3%	5.8%	6.3%
全学年	学齢人口	1493	1459	1455	1478	1450	1411	1407
	第一希望申請数	210	213	219	242	250	249	250
	4/1 時点需要数 G	204	212	215	238	246	245	246
	4/1 の定員数	180	180	180	180	180	180	180
	4/1 の受入可能数 H※	196	196	196	196	196	196	196
	超過数 I I=G-H	8	16	19	42	50	49	50
	5/1 の待機児童数	4	7					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の割程度の人数）を加えたものです。

【興本・扇地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
扇	1	44		住区センター	①扇小学校
興本	2	76		住区センター	②興本小学校
みどり	2	76		直営	③寺地小学校
					④本木小学校
地区内 計	5	196			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はやや減少していきませんが、申請率が上昇していくため、需要数は増加していきます。
- 2 引き続き超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区25 西新井本町・江北地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	783	795	800	753	667	638	625
	第一希望申請数 B	262	266	314	312	298	306	319
	申請率 C(%) C=B/A	33.5%	33.5%	39.3%	41.5%	44.7%	47.9%	51.1%
高学年	学齢人口 D	717	744	785	809	821	800	753
	第一希望申請数 E	22	37	32	28	24	18	13
	申請率 F(%) F=E/D	3.1%	5.0%	4.1%	3.5%	2.9%	2.3%	1.7%
全学年	学齢人口	1500	1539	1585	1562	1488	1438	1378
	第一希望申請数	284	303	346	340	322	324	332
	4/1 時点需要数 G	259	286	325	319	301	303	311
	4/1 の定員数	270	270	270	270	270	270	270
	4/1 の受入可能数 H※	292	292	292	292	292	292	292
	超過数 I I=G-H	-33	-6	33	27	9	11	19
	5/1 の待機児童数	11	20					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【西新井本町・江北地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
江北	1	44		住区センター	①栗原小学校 ②江北小学校 ③西新井小学校
江北五色のさくら	1	55	○	指定管理	
さかえっこ	1	55	○	指定管理	
西新井栄町	1	44	○	住区センター	
西新井本町	1	44		住区センター	
にじっこ	1	50		住区センター	
地区内 計	6	292			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 令和4年度、江北小学校と高野小学校の統合新校に、江北五色のさくら学童保育室を1室開設しました。
- 2 低学年の学齢人口は減少していきませんが、低学年の申請率が上昇していくため、需要数はほぼ横ばいで推移していきます。
- 3 引き続き超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組みます。

地区26 西新井地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	153	157	162	168	192	209	216
	第一希望申請数 B	57	57	54	55	62	66	67
	申請率 C(%) C=B/A	37.3%	36.3%	33.3%	32.7%	32.1%	31.5%	30.9%
高学年	学齢人口 D	197	175	159	156	157	162	168
	第一希望申請数 E	25	20	21	21	22	23	25
	申請率 F(%) F=E/D	12.7%	11.4%	13.2%	13.6%	14.0%	14.4%	14.8%
全学年	学齢人口	350	332	321	324	349	371	384
	第一希望申請数	82	77	75	76	84	89	92
	4/1 時点需要数 G	53	43	43	44	52	57	60
	4/1 の定員数	106	106	107	107	107	107	107
	4/1 の受入可能数 H※	112	112	113	113	113	113	113
	超過数 I I=G-H	-59	-69	-70	-69	-61	-56	-53
	5/1 の待機児童数	0	0					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【西新井地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
ドリーム秋桜クラブ	1	44	○	民設	①西新井第一小学校
ドリーム水仙クラブ	1	24	○	民設	
西新井	1	45		住区センター	
地区内 計	3	113			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 低学年の申請率はやや下降していきますが、学齢人口が増加していくため、需要数はやや増加していきます。
- 2 受入可能数が需要数を上回る状態が続くため、需要数の動向を注視していきます。

地区27 伊興南地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	644	616	637	651	655	624	585
	第一希望申請数 B	207	219	225	240	252	250	244
	申請率 C(%) C=B/A	32.1%	35.6%	35.3%	36.9%	38.5%	40.1%	41.7%
高学年	学齢人口 D	673	656	653	642	616	637	651
	第一希望申請数 E	37	31	31	30	29	30	31
	申請率 F(%) F=E/D	5.5%	4.7%	4.7%	4.7%	4.7%	4.7%	4.7%
全学年	学齢人口	1317	1272	1290	1293	1271	1261	1236
	第一希望申請数	244	250	256	270	281	280	275
	4/1 時点需要数 G	225	230	241	255	266	265	260
	4/1 の定員数	238	238	238	238	238	238	238
	4/1 の受入可能数 H※	249	249	249	249	249	249	249
	超過数 I I=G-H	-24	-19	-8	6	17	16	11
	5/1 の待機児童数	12	12					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【伊興南地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
栗原北	2	78		住区センター	①栗原北小学校 ②西伊興小学校 ③西新井第二小学校
つぼみ	1	38	○	指定管理	
ドリームすみれクラブ	1	36	○	民設	
西伊興	1	50		住区センター	
西伊興ほがらか	1	47		住区センター	
地区内 計	6	249			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口はやや減少していきませんが、低学年の申請率が上昇していくため、需要数は増加していきます。
- 2 引き続き超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組めます。

地区28 伊興北地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	573	583	567	538	499	464	470
	第一希望申請数 B	171	175	199	194	184	175	182
	申請率 C(%) C=B/A	29.8%	30.0%	35.1%	36.0%	36.9%	37.8%	38.7%
高学年	学齢人口 D	625	607	593	566	583	567	538
	第一希望申請数 E	28	37	25	26	29	31	31
	申請率 F(%) F=E/D	4.5%	6.1%	4.2%	4.6%	5.0%	5.4%	5.8%
全学年	学齢人口	1198	1190	1160	1104	1082	1031	1008
	第一希望申請数	199	212	224	220	213	206	213
	4/1 時点需要数 G	199	211	222	218	211	204	211
	4/1 の定員数	170	170	170	170	170	170	170
	4/1 の受入可能数 H※	182	182	182	182	182	182	182
	超過数 I I=G-H	17	29	40	36	29	22	29
	5/1 の待機児童数	9	11					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【伊興北地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
伊興	1	44		住区センター	①伊興小学校 ②東伊興小学校
はやぶさ	1	44		住区センター	
東伊興	1	50		住区センター	
レインボー	1	44		住区センター	
地区内 計	4	182			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 申請率はやや上昇していきますが、学齢人口が減少していくため、需要数はやや減少していきます。
- 2 引き続き超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組めます。

地区29 鹿浜地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	389	371	374	382	381	355	329
	第一希望申請数 B	84	97	116	131	144	146	147
	申請率 C(%) C=B/A	21.6%	26.1%	31.0%	34.4%	37.8%	41.2%	44.6%
高学年	学齢人口 D	440	420	410	390	371	374	382
	第一希望申請数 E	14	13	17	18	19	21	23
	申請率 F(%) F=E/D	3.2%	3.1%	4.1%	4.6%	5.1%	5.6%	6.1%
全学年	学齢人口	829	791	784	772	752	729	711
	第一希望申請数	98	110	133	149	163	167	170
	4/1 時点需要数 G	90	107	127	143	157	161	164
	4/1 の定員数	80	105	105	105	105	105	105
	4/1 の受入可能数 H※	88	115	115	115	115	115	115
	超過数 I I=G-H	2	-8	12	28	42	46	49
	5/1 の待機児童数	3	2					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の割程度の人数）を加えたものです。

【鹿浜地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
鹿浜	1	44		住区センター	①鹿浜五色桜小学校
鹿浜未来	2	71	○	指定管理	②鹿浜未来小学校
地区内 計	3	115			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 令和5年度、北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合新校に鹿浜未来学童保育室2室開設（1室増室）しました。
- 学齢人口はやや減少していきますが、申請率が上昇していくため、需要数は増加していきます。
- 引き続き超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組めます。

地区30 谷在家・皿沼地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	416	400	382	372	349	340	313
	第一希望申請数 B	91	97	110	110	107	107	101
	申請率 C(%) C=B/A	21.9%	24.3%	28.8%	29.7%	30.6%	31.5%	32.4%
高学年	学齢人口 D	420	414	413	407	400	382	372
	第一希望申請数 E	10	11	21	21	20	19	19
	申請率 F(%) F=E/D	2.4%	2.7%	5.1%	5.1%	5.1%	5.1%	5.1%
全学年	学齢人口	836	814	795	779	749	722	685
	第一希望申請数	101	108	131	131	127	126	120
	4/1 時点需要数 G	72	81	108	108	104	103	97
	4/1 の定員数	125	125	125	125	125	125	125
	4/1 の受入可能数 H※	133	133	133	133	133	133	133
	超過数 I I=G-H	-61	-52	-25	-25	-29	-30	-36
	5/1 の待機児童数	0	1					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【谷在家・皿沼地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
押皿谷	1	45		住区センター	①皿沼小学校 ②鹿浜第一小学校
加賀	1	44		住区センター	
がじゅまる	1	44	○	民設	
地区内 計	3	133			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 申請率はやや上昇していきますが、学齢人口が減少していくため、需要数はやや減少していきます。
- 2 受入可能数が需要数を上回る状態が続くため、需要数の動向を注視していきます。

地区31 舎人・入谷地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	776	789	765	727	654	649	600
	第一希望申請数 B	223	241	233	230	216	223	214
	申請率 C(%) C=B/A	28.7%	30.5%	30.5%	31.7%	33.0%	34.3%	35.6%
高学年	学齢人口 D	831	820	787	772	789	765	727
	第一希望申請数 E	21	25	45	48	53	55	56
	申請率 F(%) F=E/D	2.5%	3.0%	5.7%	6.2%	6.7%	7.2%	7.7%
全学年	学齢人口	1607	1609	1552	1499	1443	1414	1327
	第一希望申請数	244	266	278	278	269	278	270
	4/1 時点需要数 G	218	248	261	261	252	261	253
	4/1 の定員数	245	245	245	245	245	245	245
	4/1 の受入可能数 H※	265	265	265	265	265	265	265
	超過数 I I=G-H	-47	-17	-4	-4	-13	-4	-12
	5/1 の待機児童数	7	15					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【舎人・入谷地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
入谷	1	50		住区センター	①足立入谷小学校 ②古千谷小学校 ③舎人小学校 ④舎人第一小学校
学童クラブ Ohana 舎人教室	1	50	○	民設	
しらさぎ	1	33		住区センター	
舎人	1	44		住区センター	
とねりこ	1	40		住区センター	
ほのぼのキッズクラブ	1	48	○	民設	
地区内 計	6	265			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 これまで待機児童が多かったため、令和4年度に学童クラブ Ohana 舎人教室を1室開設しました。
- 2 申請率はやや上昇しますが、学齢人口が減少していくため、需要数はやや減少していきます。
- 3 受入可能数が需要数を上回っている状態が続くため、需要数の動向を注視していきます。

地区32 新田地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	524	500	470	440	428	418	396
	第一希望申請数 B	208	201	201	193	192	191	185
	申請率 C(%) C=B/A	39.7%	40.2%	42.8%	43.8%	44.8%	45.8%	46.8%
高学年	学齢人口 D	646	598	548	527	500	470	440
	第一希望申請数 E	40	59	62	66	69	70	71
	申請率 F(%) F=E/D	6.2%	9.9%	11.3%	12.5%	13.7%	14.9%	16.1%
全学年	学齢人口	1170	1098	1018	967	928	888	836
	第一希望申請数	248	260	263	259	261	261	256
	4/1 時点需要数 G	153	229	191	187	189	189	184
	4/1 の定員数	320	270	270	270	270	270	270
	4/1 の受入可能数 H※	346	291	291	291	291	291	291
	超過数 I I=G-H	-193	-62	-100	-104	-102	-102	-107
	5/1 の待機児童数	0	0					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の二割程度の人数）を加えたものです。

【新田地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
新田	1	50		住区センター	①新田小学校
新田学園	1	55	○	指定管理	
新田学園第二	3	131	○	指定管理	
ハートアイランド 新田学童クラブ	1	55	○	民設	
地区内 計	6	291			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口は減少していきませんが、申請率が上昇するため、需要数は横ばいで推移していきます。
- 2 受入可能数が需要数を上回る状態が続くため、需要数の動向を注視していきます。

地区33 江南地区

【学童保育申請数の実績と今後の見込み】

単位：人

区分	年 度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
低学年	学齢人口 A	236	230	221	217	209	188	177
	第一希望申請数 B	62	61	58	57	54	49	46
	申請率 C(%) C=B/A	26.3%	26.5%	26.2%	26.1%	26.0%	25.9%	25.8%
高学年	学齢人口 D	245	241	246	236	230	221	217
	第一希望申請数 E	1	1	0	0	0	0	0
	申請率 F(%) F=E/D	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全学年	学齢人口	481	471	467	453	439	409	394
	第一希望申請数	63	62	58	57	54	49	46
	4/1 時点需要数 G	63	62	58	57	54	49	46
	4/1 の定員数	50	50	50	50	50	50	50
	4/1 の受入可能数 H※	50	50	50	50	50	50	50
	超過数 I I=G-H	13	12	8	7	4	-1	-4
	5/1 の待機児童数	0	2					

※ 令和7年度以降は、申請率を基に申請数を算出しており、申請率C、Fに誤差が生じる場合があります。

※ 「受入可能数」とは、学童保育室の定員に、弾力化分（定員の割程度の人数）を加えたものです。

【江南地区の現状】

地区内学童保育室	室数	受入可能数	特別延長保育	運営主体	地区内小学校
江南	1	50		住区センター	①宮城小学校
地区内 計	1	50			

【今後5年間の需要予測から見た今後の方向性】

- 1 学齢人口は減少していき、申請率は変動が少ないことから、需要数はやや減少していきます。
- 2 今後も一定の超過数が見込まれるため、令和7年4月1日開設に向けた学童保育室の整備に取り組めます。